

AEON

MaxValu

AEON B/G



マックスバリュ九州株式会社

証券コード:3171

第17期 中間報告書

2018.3.1 ~ 2018.8.31

✓ 経営理念

より信頼される 企業を目指して



- 1 お客さま第一に徹して、お客さまの喜びを私たちの喜びとします。
- 2 お客さまにとって価値ある商品とサービスを提供します。
- 3 信頼される企業市民として地域社会に環境保全・社会貢献活動を行います。
- 4 従業員を尊重し、成果に対して正当な評価をして働き甲斐のある職場の実現をします。
- 5 常に絶えざる革新に挑戦し、高い生産性と収益性を実現します。



✓ 株主の皆さまへ

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当第2四半期累計期間における経済環境は、賃金・雇用環境の改善等により引き続き緩やかな景気回復基調にあるものの、海外の政治、経済状況の不確実性や、生活物価の上昇傾向により、生活者の消費購買意欲については、依然として不安定な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社は『すべてはお客さまのために』を原点にベストローカルを実現し、九州におけるスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、地域のお客さまニーズの変化に対応し、地域シェアを高めるため新規出店及び既存店の活性化を実施するとともに、熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間におきましては、事業基盤の拡大の要となる新規出店として、マックスバリュ木花台店(宮崎県宮崎市)とマックスバリュみずき台店(熊本県合志市)の2店舗を開店しました。マックスバリュ木花台店は同敷地内にて既存の木花台店をスクラッ

プアンドビルドし、品揃えの拡大や地産地消コーナーの導入、イートインコーナーの新設等、お客さまニーズに、より細かく対応できる店舗として2018年3月に生まれ変わりました。マックスバリュみずき台店は、株式会社熊本生鮮市場が経営する「熊本生鮮市場みずき台店」が閉店することを受けて、同店舗の営業を承継し、2018年8月に開店いたしました。従来のお客さまからご要望の多かった品揃えの拡大や衛生面に配慮した惣菜コーナーや焼き立てパンコーナーを新設し、近隣のお客さまニーズにお応えしております。以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高88,564百万円、営業利益1,121百万円、経常利益1,132百万円、四半期純利益599百万円と増収増益となりました。

当社は今後も引き続き、お客さまに広くご支持いただける企業を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年10月



マックスバリュ九州株式会社
代表取締役社長

佐々木 勉

Tsutomu Sasaki

■業績ハイライト

売 上 高	88,564百万円
営 業 利 益	1,121百万円
四 半 期 純 利 益	599百万円

✓既存店の改装について

営業面では、中期経営計画に基づき「ライフスタイル提案型」の品揃えに刷新するために、既存店の大型改装に取り組みました。マックスバリュ門司西店(福岡県北九州市)やマックスバリュ笠之原店(鹿児島県肝属郡)等では、ヘルス&ウェルネス商品や旬の商品等、お客さまニーズの変化に対応した品揃えの刷新のみならず、建物外装に至るまで見直しを行いました。

■2018年5月24日改装オープン
マックスバリュ門司西店



■2018年7月5日改装オープン
マックスバリュ空港通り店



■2018年7月19日改装オープン
マックスバリュ笠之原店



■2018年8月9日改装オープン
マックスバリュエクスプレス曾根崎店



✓人材育成／ダイバーシティマネジメントの推進

2013年から、従業員の働き方改革・職場環境整備を主眼に、定期的に研修・会議を実施してまいりました。2018年上期は、人材育成とダイバーシティ推進をからめ「イオン行動規範／人権幹部研修」・「キャリアデザイン研修（定期入社4年次）」を企画・実施いたしました。

■「イオン行動規範／人権幹部研修」のキーワード……

原理・原則の理解と率先垂範

当研修の目的は、(1) イオンピープル（イオンで働く従業員）として、正しい考え方と行動でお客さま第一の考え方を実現できるようになる
(2) 幹部として、自他ともに人こそが企業にとってかけがえのない資産であることを再確認する
(3) 人権問題を自身に関わる身近な問題と捉え、気づき考え行動できるようになる、以上の3点にあります。組織内における生産性向上のために幹部の人間性向上が不可欠である、という観点から幹部として自身の行動を振り返る機会を設けました。



■「キャリアデザイン研修(定期入社4年次)」のキーワード……

時流を知り、自身のライフプラン・ワークプランを熟考する

当研修では、受講者（定期入社4年次）に、自助努力を重ね、早いうちに社内での次の資格・職位に上がる重要性を説きました。また、個人ワーク・グループワークの時間を通じ、社員として会社から求められている・期待されている要素とは何かを改めて考え、社会情勢の変化を学び、その後、各人の人生設計をライフとワークの両面から捉え直す時間を設けました。



✓ 環境保全・社会貢献活動の状況

当社は、環境保全や社会貢献に事業活動の一環として取り組むことが地域に根ざした小売業の使命であると認識しております。2018年上期は次の活動を進めてまいりました。

① ISO14001の基準に基づく環境保全活動の実施



ISO14001 1年次サーベイランス審査 2018年4月18日(水)～20日(金)の3日間実施。「是正要」1項目、「改善の余地」2項目をいただきましたが、2015年版の認証を維持できました。

④ 店頭リサイクル運動、レジ袋削減運動



2018年6月1日(金)より、北九州市内9店舗において、食品レジ袋無料配布中止をスタートしました。

食品トレー回収量..... 87,420kg
牛乳パック回収量 83,892kg
アルミ缶回収量..... 76,593kg
ペットボトル回収量..... 109,584kg
買物袋持参率..... 49.9%
レジ袋削減枚数..... 42,890,467枚

② 植樹活動の実施



新店における植樹活動では、マックスバリュ木花台店において、従業員による記念植樹を実施。植樹累計本数は94,745本となりました。
*マックスバリュ木花台店 230本(2018年3月4日(日))

⑤ 各種募金活動の実施



募金総額25,238,534円をお客さまよりお預かりし、指定の口座へ振込みいたしました。

障がい者ものづくり応援募金(2018年2月10日(土)～3月11日(日)) 807,443円
ミャンマー学校建設支援募金(2018年4月1日(日)～5月27日(日)) 1,415,863円
西日本豪雨災害 緊急支援募金 第1弾(2018年7月9日(月)～7月31日(火)) 5,780,865円
西日本豪雨災害 緊急支援募金 第2弾(2018年8月1日(水)～8月31日(金)) 2,512,246円
24時間テレビ41 チャリティ募金(2018年6月8日(金)～9月2日(日)) 12,779,397円
24時間テレビ41 チャリティシャツ寄付金(2018年6月8日(金)～9月2日(日)) 1,942,720円

③ 「被災地を支援する黄色いレシートキャンペーン」の実施

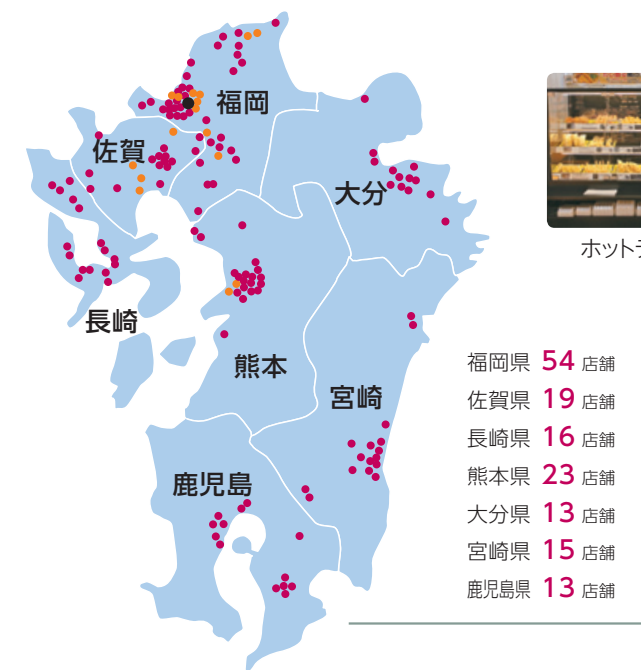


「被災地を支援する黄色いレシートキャンペーン」では、ご投函いただいたお買い上げレシート合計金額の1%を寄付いたしました。

*「東北・熊本応援黄色いレシートキャンペーン」
(2018年3月9日(金)～11日(日))
福島県へ 1,441,431円
熊本県へ 3,363,339円
合計4,804,770円を寄付いたしました。

✓ 店舗情報

成長の要となる新規店舗は、お客さまのライフスタイルの変化に対応した新コンセプトに基づく店舗として、2018年3月にマックスバリュ木花台店(宮崎県宮崎市)、2018年8月にマックスバリュみずき台店(熊本県合志市)をオープンいたしました。



全
153
店舗

2018年8月31日現在
●=本社 ●=店舗
○=店舗(ザ・ビッグ)



2018年3月8日オープン
マックスバリュ木花台店



ホットデリコーナー



飲料コーナー



青果コーナー



2018年8月2日オープン
マックスバリュみずき台店



焼き立てパンコーナー



水産コーナー



畜産コーナー

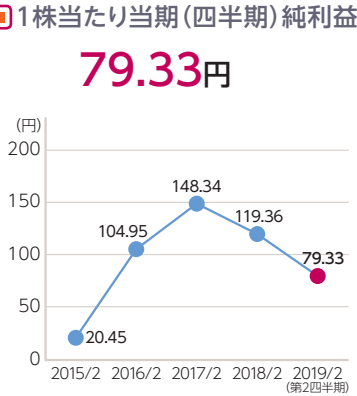
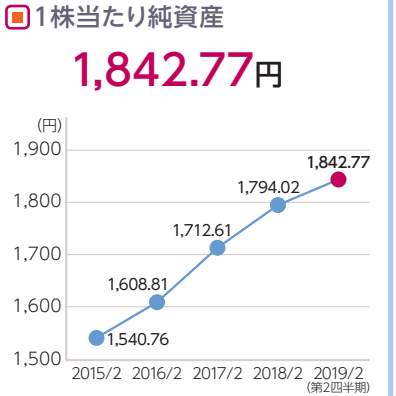
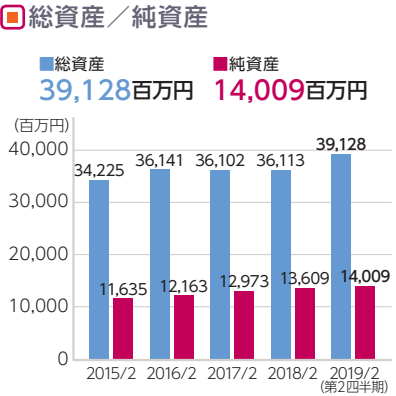
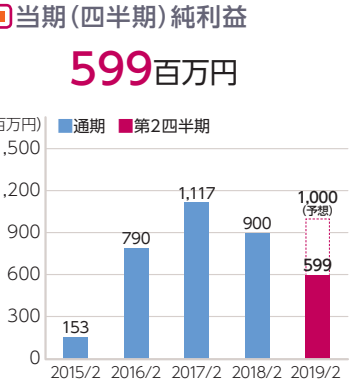
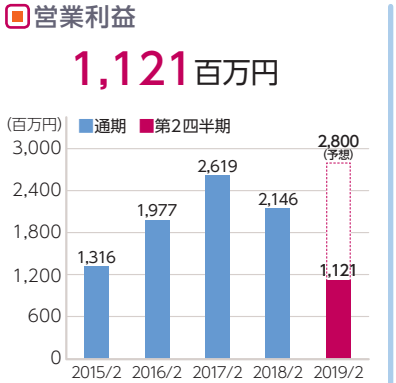
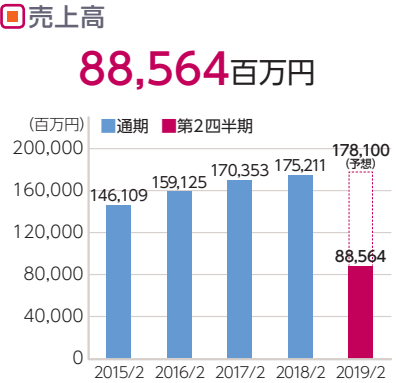
営業の概要

既存店舗の活性化として9店舗の改装、1店舗の陳列商品の大幅入替えを実施しております。これにより地域のお客様のニーズに呼応した品揃えや売場に刷新し、生鮮食品を中心に地域・地場商品の拡大や焼き立てパンの導入等に取り組むとともに、店舗の外装や内装も一新しております。同時に老朽化した冷凍・冷蔵ケースの入替え等の営繕計画を実行することで、オペレーションコストの削減に取り組んでおります。

また、2018年8月末に旬鮮工房（福岡水産パックセンター）を開設し、福岡都市部の小型店舗へ刺身やお寿司、

切り身等の商品供給をスタートさせました。品揃えの充実及び鮮度の向上を図るとともに、店舗作業の軽減や人時不足を解消し、ローコストオペレーションの実現に取り組んでおります。

店舗作業の軽減を目的として、自動発注システムの入替えによる発注作業の効率化やお支払セミセルフレジの導入を行い、後方業務の軽減として、売上金入金機の導入の拡大を図るとともに、省エネルギー対策としてLED照明の導入や空調設備の入替えを実行することで、オペレーションコストの積極的な削減に取り組んでおります。



貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 (2018年8月31日現在)	前 期 末 (2018年2月28日現在)
資産の部		
流動資産	19,167	16,245
固定資産	19,961	19,867
有形固定資産	13,252	13,169
無形固定資産	24	27
投資その他の資産	6,683	6,670
資産合計	39,128	36,113
負債の部		
流動負債	23,010	20,132
固定負債	2,109	2,371
負債合計	25,119	22,503
純資産の部		
株主資本	13,729	13,347
資本金	1,608	1,604
資本剰余金	1,454	1,449
利益剰余金	10,666	10,293
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	201	200
新株予約権	78	61
純資産合計	14,009	13,609
負債純資産合計	39,128	36,113

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

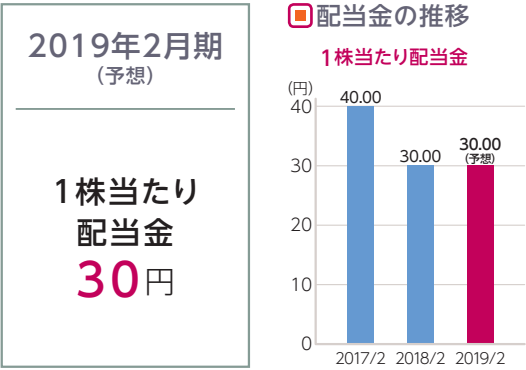
科 目	当第2四半期 (2018年3月1日～ 2018年8月31日)	前第2四半期 (2017年3月1日～ 2017年8月31日)
売上高	88,564	87,327
売上原価	67,533	66,937
売上総利益	21,031	20,389
その他の営業収入	1,091	1,035
営業総利益	22,123	21,425
販売費及び一般管理費	21,001	20,830
営業利益	1,121	595
営業外収益	27	30
営業外費用	16	21
経常利益	1,132	604
特別利益	11	—
特別損失	193	44
税引前四半期純利益	949	559
法人税、住民税及び事業税	364	135
法人税等調整額	△14	41
四半期純利益	599	382
キャッシュ・フロー計算書(要旨)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期 (2018年3月1日～ 2018年8月31日)	前第2四半期 (2017年3月1日～ 2017年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,026	3,202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△611	△812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544	△457
現金及び現金同等物の増減額	2,869	1,932
現金及び現金同等物の期首残高	7,426	6,554
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,296	8,486

株主還元

当社は、株主さまに対する利益の還元を経営上の重要な施策と位置づけており、事業規模の拡大と経営の効率化によって企業価値を高めるために必要な内部留保資金を確保しつつ、安定した配当の継続を基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、店舗の新設及び改装、システム投資並びに人材育成のための教育投資等に活用し、事業基盤の強化と更なる業容の拡大につなげてまいります。

なお、当事業年度の配当金につきましては、1株当たり30円を予想しております。



株主優待

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主さまに対し、右記のいずれかを贈呈いたします。

ただし、記載の②③の地域特産品は2018年に贈呈した商品であり、2019年は変更になる場合がございます。

区分	①株主さまご優待券	②寒製島原手延べ素麺	③調味料ギフトセット
100株 ～ 999株			
1,000株 ～ 1,999株			
2,000株 以上			

会社概要／株式の状況

会社概要 (2018年8月31日現在)

会 社 名	マックスバリュ九州株式会社
設 立	2002年3月
資 本 金	1,608百万円
本店所在地	福岡市博多区博多駅東三丁目13番21号
従 業 員	社員1,482名、フレックス社員他6,026名 (ただし1日8時間換算による)
店 舗 数	153店舗
主要な事業内容	食料品及び日用雑貨品等の小売販売及び テナントに対する不動産賃貸業等

役員 (2018年8月31日現在)

代表取締役社長	佐々木 勉
取締役常務執行役員	井 上 渡
取締役執行役員	田 中 實
取締役執行役員	南 谷 和 彦
社外取締役	青 木 孝 一
社外取締役	林 田 ス マ
常勤監査役	宮 崎 雅 典
社外監査役	古 賀 和 孝
社外監査役	久 家 基 裕
監査役	大 塚 要

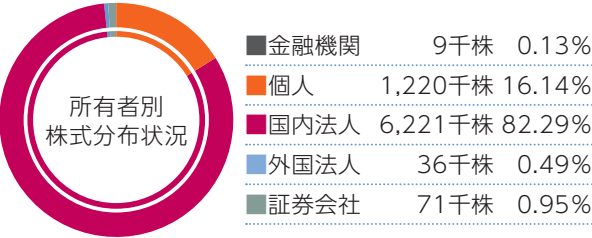
株式の状況 (2018年8月31日現在)

発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	7,559,595株(うち、自己株式147株)
株 主 数	5,144名

大株主 (2018年8月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	5,815	76.92
マックスバリュ九州従業員持株会	146	1.93
マックスバリュ九州共栄会	132	1.75
横尾由佳	50	0.67
株式会社エーブル	39	0.51
山本スミ	37	0.50
株式会社SBI証券	35	0.46
ミニストップ株式会社	32	0.43
マックスバリュ西日本株式会社	30	0.40
加藤産業株式会社	30	0.39
三菱食品株式会社	30	0.39

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(147株)を控除して算出しており、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



株主メモ

上 場 市 場	東京証券取引所JASDAQ市場
上 場 日	2012年2月22日
証 券 コ ー ド	3171
事 業 年 度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定 時 株 主 総 会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株 主 確 定 基 準 日	毎年2月末日
剰余金の配当の基準日	毎年2月末日／毎年8月末日
株式の売買単位	100株
公 告 掲 載 方 法	電子公告とする。ただし、事故その他やむをえない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行う。
電子公告掲載URL	http://www.mv-kyushu.co.jp/
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各 種 事 務 手 続 き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

株式に関する 『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用
法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

お手続きやご相談は、左記連絡先までご連絡ください。

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3171

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjrm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



(1809)